

「Educational Challenge 2023」公募要領

1. 目的

学生・院生らの自発的な取り組みを促し、活性化させるために、学生・院生らの教育についての自主的な企画や事業のプロジェクトに対し、予算的な支援をする。また、新規にプロジェクト間の学生の相互交流を促す交流支援業務も別途募集をする。

2. 応募条件

- ①教育学部学生・教職大学院生・総合人文系大学院生(長野キャンパス)が中心となって運営するプロジェクトであること。
- ②教育に関係していると判断できる企画・事業であれば、学校教育以外でも構わない。ただし、安全性や社会的、教育的にマイナス面が危惧される点があるプロジェクト、あるいは教員の研究の一環であるプロジェクトは対象外とする。
- ③原則複数名による取り組みであること。
- ④他学部、他大学学生が事業に参加していても差し支えないが、運営主体は教育学部および長野キャンパスの学生・院生であるプロジェクトであること。
- ⑤多くの学生・院生に機会を与える趣旨から、1団体1申請とし、同一団体による重複申請は認めない(同一人物が複数団体に所属し、構成員として申請することは差し支えない)。
- ⑥特に地域と連携した取り組みを推奨する。
- ⑦プロジェクトの活動拠点や主な実施場所を明示すること(県外団体や地域との連携も可)。
- ⑧成果を適宜情報発信したり、報告資料を公開したりするなど、学部の広報活動に積極的に協力してもらえること。
事業の Web サイト https://fablab-nagano.org/educational_challenge/
- ⑨中間報告および最終成果報告会に対応でき、期限までに最終成果報告書を提出できること。
- ⑩応募団体は、長野キャンパスの教員が顧問にいないこと。顧問は、プロジェクトの課外活動中の安全性確保について責任を負うものではないが、安全性や違法行為などがあつた場合は所定の連絡・相談をすること。
- ⑪一般からの参加者が関わる活動を含めたプロジェクトを申請する場合は、一般参加者のイベント保険の加入を必須とすること。

3. 支援期間 令和5年6月下旬～令和6年2月末まで

4. 募集部門

募集は以下の2部門とし、配分上限額は10万円とする(採択件数や査定により申請より減額もある)。

①Ongoing project 部門＝これまで既に実施していた内容での継続の企画・事業

②Challenge project 部門＝新規に挑戦する企画・事業

・Ongoing project 部門については R4 年度までに活動実績があること。

・Challenge project 部門については、活動実績は不要だが、提案を実現できる見通しがあること。

5 選考基準 Ongoing project 部門 1～8, Challenge project 部門 1～7で評価をする

1	学生・院生の自主的、積極的なプロジェクトであるか。
2	教育的な成果が期待できるプロジェクトであるか。
3	魅力的、独創的なプロジェクトであるか。
4	目的、概要、実施計画、実施方法が明確であり、実現可能性があるか。
5	地域との連携が期待できるプロジェクトであるか。
6	必要経費の算定は妥当であるか。
7	安全対策や個人情報対応など、社会的、教育的にマイナス面を生じない配慮があるか。
8	過去の活動実績は十分であり、検証・改善がなされているか。

7. 応募書類及び提出先

①公募要領の Web ページより、申請書(様式1)に必要事項を記入する。

②必要に応じて添付書類(見積書、カタログ等)を添付する。

③必要書類一式を、以下のフォームから提出をする(信州大アカウントのみ受付)

<https://forms.gle/GfwvebmoYaFqsnqy9>

7. 応募書類提出期限

令和 5 年 5 月 15 日(月) 17:00

8. プロジェクト間の交流支援業務

昨年要望の多かった、プロジェクト間の学生の交流支援を、本事業の趣旨に伴い、学生らの自主的取組で進められるようにする。そこで、プロジェクト間の交流支援業務を別途募集する。

① 応募は、Ongoing project 部門や Challenge project 部門と重複しても構わない。

② 個人ではなく、グループでの応募とし、選考で委託先を決定する。

③ 募集は、採択確定後に行う

9. 事業の選考及び配分額の決定

① 第一次選考(書類審査):申請のあった事業について関係会議で選考する。

② 第二次選考(プレゼン):第一次選考合格者に対して関係会議で選考する。

※二次審査の要項は、本事業のサイトを参照する

https://fablab-nagano.org/educational_challenge/about

第二次選考の評価結果を基に採択を決定する。

10.成果報告

当該経費の配分を受けた団体は、中間報告会(10月)および事業の成果を最終報告会(2月)にて参加・報告するとともに、年度末までに最終報告書を提出するものとする。

11. 選考等の主な日程

令和5年4月17日(月)	公募開始
5月15日(月)	応募〆切
5月下旬	第一次選考(書類審査)
6月14日(水) 13:30	第二次選考(プレゼン)
6月下旬	事業の選定及び配分額決定, プロジェクトスタート
10月11日(水)13:30	中間報告会(プレゼン)
令和6年2月14日(水)13:30	最終報告会(プレゼン)
3月末	最終報告書提出

12. 連絡先

応募に関するお問い合わせは以下のフォームからお願いします(信州大アカウントのみ)。

<https://forms.gle/vpiGvwbzidQkVQpb6>